













野菜の需給・価格動向レポート(平成25年4月1日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	2月の価格動向		3月の価格動向			生育及び価格の4月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格					
		下旬		上旬	中旬				
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	107	88.05	91	83	・入荷見込量: 16,700t (100) ・主産地: 神奈川 (42)、愛知 (42)、千葉 (11)	・神奈川県は、気温の上昇とともに生育が進み、順調な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。愛知産は、出荷のピークを過ぎ出荷量が減少傾向となるものの、順調な生育で、引き続き大玉傾向の出荷が続く見込み。千葉県は、平年並みの出荷となっている。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、やや平年を下回って推移する見込み。	
		83.73	106	83.73	88	79	・入荷見込量: 4,700t (106) ・主産地: 愛知 (50)、大阪 (16)、兵庫 (15)、三重 (9)		
	ねぎ 	229.99	250	229.99	252	212	・入荷見込数量: 3,760t (100) ・主産地: 千葉 (47)、埼玉 (25)、茨城 (11)、輸入 (5)	・千葉県は、順調な生育となり、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、適雨で肥大も進み、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、秋冬ものが出荷が終了し、今後は春もの出荷となるが、順調な生育で、中旬から出荷開始の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		309.39	342	309.39	310	260	・入荷見込数量: 220t (108) ・主産地: 徳島 (27)、三重 (17)、香川 (15)、奈良 (14)、大阪 (11)、高知 (10)		
	はくさい 	61.12	71	61.12	66	51	・入荷見込量: 6,055t (100) ・主産地: 茨城 (84)	・茨城産は、春もの出荷となり、気温の上昇と日照量にも恵まれたことから、玉肥大も順調で、中下旬のピークに向けて出荷量が増加する見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。	
		68.7	75	68.7	66	51	・入荷見込量: 3,400t (114) ・主産地: 長崎 (32)、熊本 (25)、茨城 (23)、宮崎 (13)		
	ほうれんそう 	307.66	403	307.66	360	289	・入荷見込量: 1,245t (100) ・主産地: 群馬 (34)、茨城 (22)、埼玉 (20)、千葉 (15)	・群馬産は、露地もの出荷が終了しハウスもの出荷となっており、順調な出荷で、今後も平年並みの出荷の見込み。茨城産、埼玉産及び千葉産は、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		341.25	433	341.25	338	282	・入荷見込量: 560t (96) ・主産地: 徳島 (36)、岐阜 (24)、福岡 (22)、群馬 (6)		
	レタス 	233.85	237	199.64	171	133	・入荷見込量: 7,850t (105) ・主産地: 茨城 (62)、兵庫 (17)、香川 (5)	・茨城産は、最近の気温の上昇により、玉の肥大も進み、大玉傾向で前年を上回る出荷となっており、今後も潤沢な出荷の見込み。兵庫産は、低温による生育の遅れも解消して順調な生育となり、中旬のピークに向けて出荷量が増加する見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		226.75	233	203.61	171	144	・入荷見込量: 1,450t (113) ・主産地: 兵庫 (55)、茨城 (20)、徳島 (16)		
	たまねぎ 	76.15	92	76.15	93	90	・入荷見込量: 12,370t (110) ・主産地: 佐賀 (44)、北海道 (37)、輸入 (7)	・佐賀産は、好天により生育が順調で、少なかった前年を上回る出荷となっており、今後本格的な出荷開始を迎え、出荷量が徐々に増加する見込み。北海道産は、平年を上回る出荷となっているものの、出荷の終盤を迎え、月末までの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年をやや上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		76.15	97	76.15	93	88	・入荷見込量: 5,100t (120) ・主産地: 佐賀 (34)、北海道 (24)、長崎 (24)、兵庫 (10)		
果 菜	きゅうり 	370.98	324	253.95	265	219	・入荷見込量: 6,960t (102) ・主産地: 埼玉 (29)、群馬 (22)、千葉 (13)、茨城 (12)	・埼玉産は、好天により順調な生育となり、今後は月末のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。群馬産は、好天により着果状況も良く、平年を上回る出荷となっており、中下旬のピークに向けて出荷量が増加する見込み。千葉県及び茨城産も、順調な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		350.33	313	242.77	262	201	・入荷見込量: 1,550t (106) ・主産地: 宮崎 (46)、高知 (16)、徳島 (15)、群馬 (11)、愛媛 (6)		
	トマト 	332.69	476	339.78	502	435	・入荷見込量: 6,530t (110) ・主産地: 栃木 (25)、熊本 (24)、愛知 (14)、埼玉 (6)、千葉 (6)、茨城 (5)、群馬 (5)、福岡 (4)	・栃木産は、小玉傾向であるものの、着果状況が良好で平年を上回る出荷となっており、今後も平年を上回る出荷となる見込み。熊本産も、小玉傾向であるものの、着果状況が良好で平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		311.06	437	321.78	463	408	・入荷見込量: 1,200t (108) ・主産地: 熊本 (59)、福岡 (18)、愛知 (8)		
	なす 	389.03	386	347.77	371	335	・入荷見込量: 3,420t (103) ・主産地: 高知 (49)、福岡 (22)、佐賀 (8)、群馬 (5)	・高知産は、好天と気温の上昇により着果も良く、平年を上回る出荷となり、5月のピークに向け出荷量が増加する見込み。福岡産は、生育が順調で平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		397.74	376	330.95	356	324	・入荷見込量: 780t (105) ・主産地: 高知 (34)、熊本 (22)、福岡 (17)、大阪 (11)、岡山 (10)		
	ピーマン 	551.24	600	551.24	621	543	・入荷見込量: 2,030t (105) ・主産地: 茨城 (55)、宮崎 (19)、高知 (18)	・茨城産は、好天と気温の上昇により、出荷量が増加し平年を上回る出荷となっていたが、今後は出荷量が落ち着き、平年並みの出荷となる見込み。宮崎産も、生育が進み平年を上回る出荷となっており、今後も中旬までは平年を上回る出荷となる見込み。 ・茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		513.91	569	513.91	588	541	・入荷見込量: 400t (116) ・主産地: 宮崎 (59)、高知 (25)、鹿児島 (8)、和歌山 (6)		
	根 菜	だいこん 	79.03	91	79.03	89	74	・入荷見込量: 10,925t (105) ・主産地: 千葉 (81)	・千葉県は、気温の上昇とともに遅れていた生育が回復し、順調な出荷となり、今後も平年を上回る出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)
			80.47	76	80.47	77	71	・入荷見込量: 3,100t (114) ・主産地: 長崎 (37)、鹿児島 (27)、香川 (19)、徳島 (7)、福岡 (7)	
		101.05	127	101.05	145	146	・入荷見込量: 6,865t (105) ・主産地: 徳島 (67)、輸入 (13)		
	にんじん 	104.73	127	104.73	138	141	・入荷見込量: 2,400t (107) ・主産地: 徳島 (79)、長崎 (8)、鹿児島 (7)	・徳島産は、生育初期の低温の影響により、やや少なめの出荷となっていたが、今後は気温の上昇により生育が進み、まとまった出荷量となる見込み。 ・徳島産の出荷量の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	

種類	2月の価格動向		3月の価格動向			生育及び価格の4月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格		
		下旬		月上旬	月中旬	
いも	217.95	190	217.95	197	191	—
	219.65	141	219.65	117	93	
ばれいしょ	88.17	88	88.17	86	87	・入荷見込量：9,120t (105) ・主産地：北海道 (58)、鹿児島 (39) ・北海道産は、安定した出荷となっているものの、月末の出荷の終盤に向けて、徐々に出荷量が減少する見込み。鹿児島産は、順調な生育で平年を上回る出荷となっており、今後は4月下旬のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。
	88.17	93	88.17	94	89	

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,533gで前年比101%、購入金額は、1,641円で前年比101%、購入数量は前年並み、購入金額は前年を下回った。
また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は、179円で過去5年平均比87%、レタスは、424円で同83%となり、キャベツは過去5年平均をかなり下回り、レタスは大幅に下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年		前年比	購入金額(円)	前年比
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比			
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,194	100	1,656	101	
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,533	101	1,641	95	
3月	4,797	1,765	4,584	1,851		0		0	
4月	4,723	1,834	4,620	1,904		0		0	
5月	5,055	1,905	4,945	1,948		0		0	
6月	5,048	1,881	5,103	1,875		0		0	
7月	4,421	1,691	4,386	1,675		0		0	
8月	4,318	1,689	4,245	1,618		0		0	
9月	4,839	1,783	4,916	1,703		0		0	
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0		0	
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0		0	
12月	5,140	1,837	5,169	1,888		0		0	

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」・過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)

月	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
	1月	187	203	109	579	904
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	179	87	512	424	83
4月	248		0	466		0
5月	175		0	369		0
6月	140		0	338		0
7月	149		0	308		0
8月	138		0	414		0
9月	142		0	526		0
10月	150		0	467		0
11月	155		0	385		0
12月	148		0	495		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
1) 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2) 平成25年3月の値は、3月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

2月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年比72%の7万2千トン、加工野菜は、同103%の12万7千トン、野菜全体は、同89%の19万8千トン、うち中国は、同102%の9万8千トンとなった。生鮮野菜は、前年を大幅に下回り、加工野菜はやや上回り、野菜全体ではかなり下回った。

野菜の輸入数量

区分	平成23年		平成24年		平成25年1～2月		平成25年2月	
	前年比		前年比		前年同期比		前年同月比	
	数量(トン)	(%)	数量(トン)	(%)	数量(トン)	(%)	数量(トン)	(%)
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	137,940	77	71,720	72
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	296,441	103	126,512	103
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	434,381	93	198,232	89
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	220,764	95	98,357	102
中国産シェア	52		51		51		50	

資料：ペジ探(原資料)財務省「貿易統計」

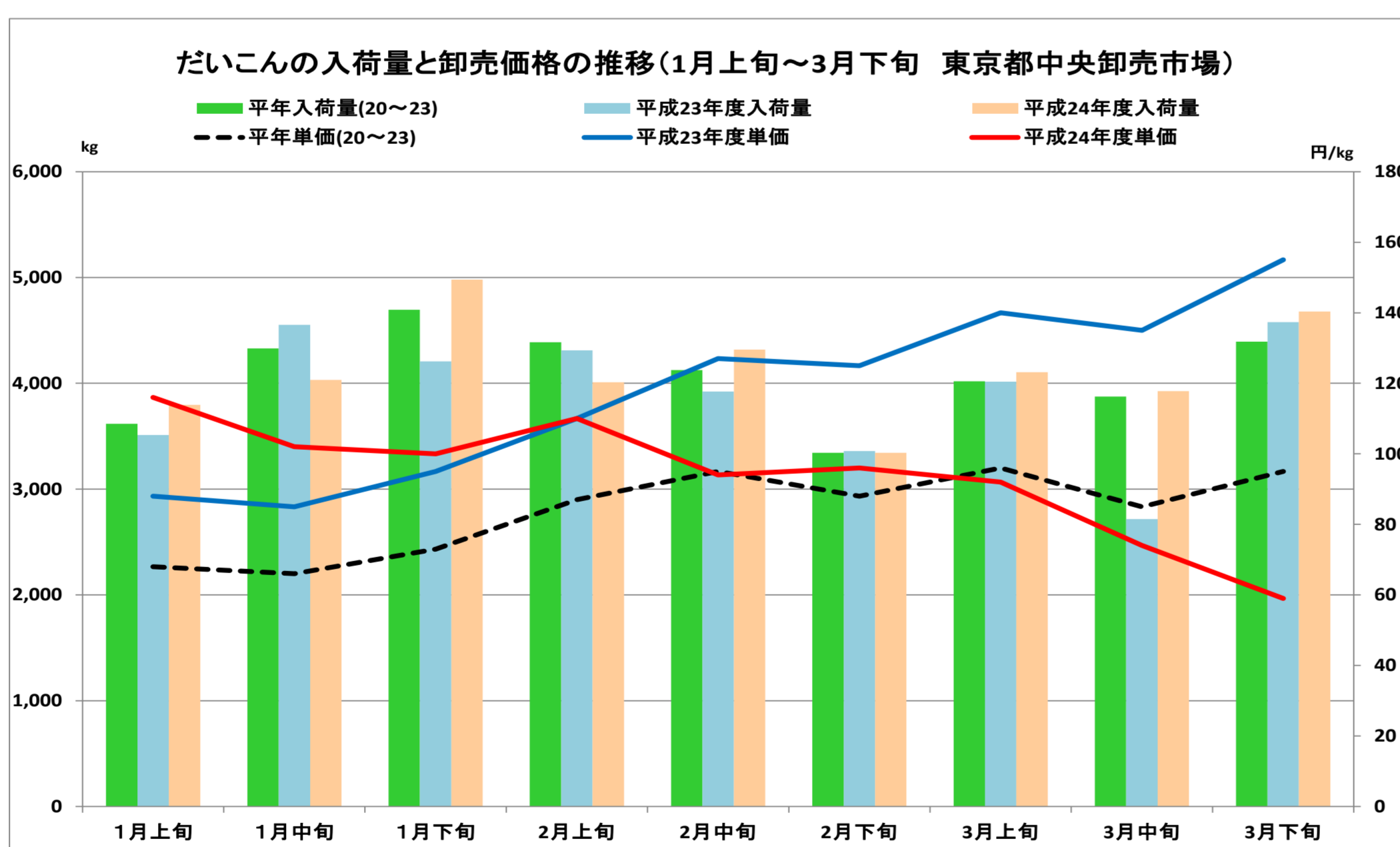
主な野菜の輸入動向

品目	輸入先	平成25年2月(B)		
		平成24年2月(A)	(B)/(A)	(%)
たまねぎ	合計	29,888	17,907	60
	中国	20,770	13,645	66
	アメリカ	5,398	1,320	24
にんじん	合計	5,532	5,145	93
	中国	4,764	4,344	91
	台湾	523	475	91
ねぎ	合計	4,085	4,158	102
	中国	4,083	4,132	101

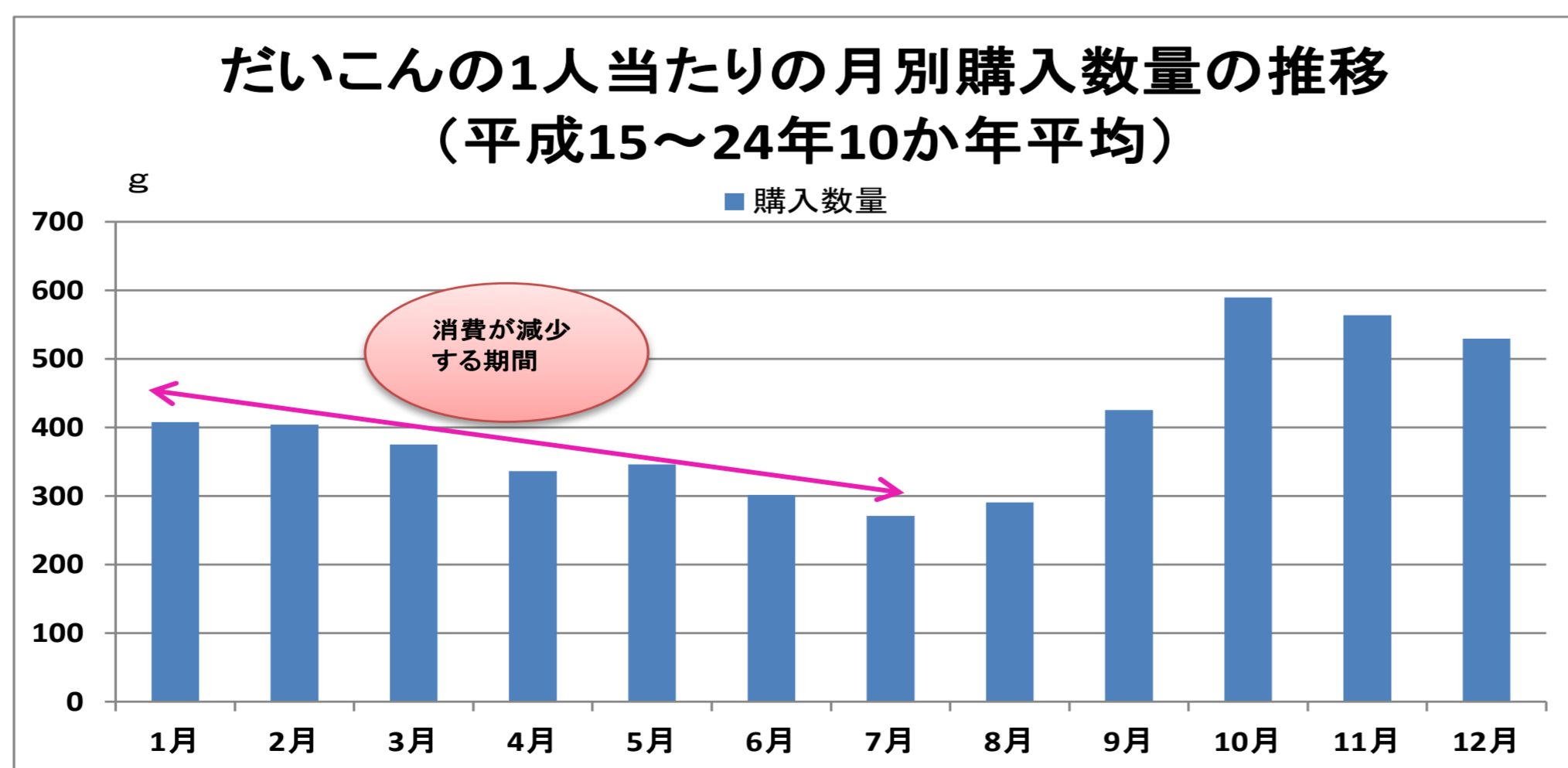
資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成25年2月は、速報値である。

4 トピック — だいこんの価格動向 —

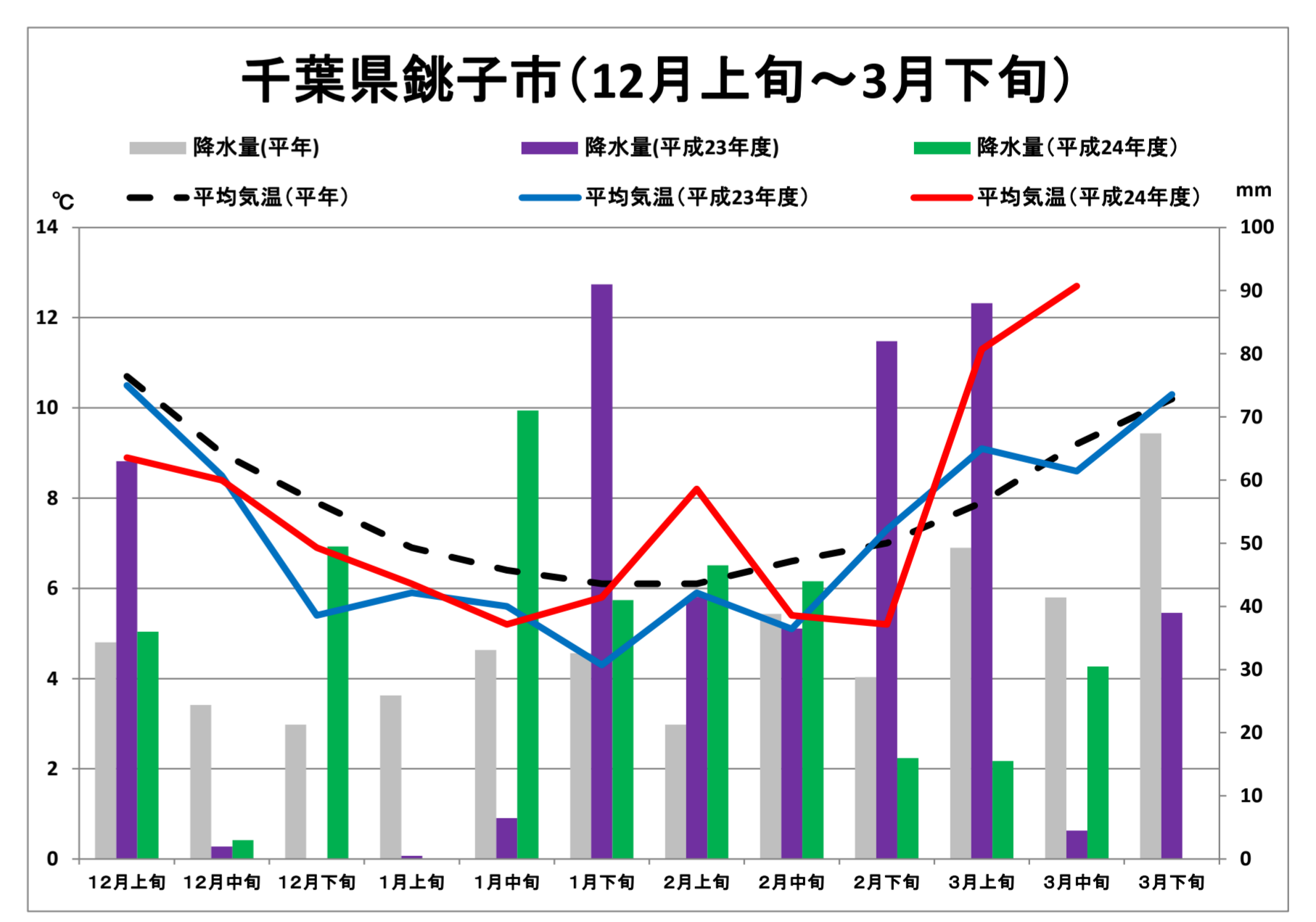
だいこんの価格は、1月下旬までは高かった前年を上回る水準で推移していたが、2月中旬からは平年並みとなり、3月中旬以降は平年を大きく下回っている。
これは、主産地の神奈川や千葉において、
① 12月から1月にかけて、気温が平年を下回ったことから、生育が停滞し、小ぶりの出荷となり、旬によってはかなり少なめの入荷量となったこと、
② 2月上旬以降は、気温が平年を上回る日が多くなり、1月以降適雨となったことから、生育が進み、2月中旬以降、ほぼ平年を上回る入荷量になっていることによる。
だいこんは漬物や煮物に使われることが多いが、漬物需要は減少傾向にある。また、気温が高くなるにつれて煮物需要も減少することから、1人当たりの月別の購入数量は、春から夏にかけて減少している。
なお、大手料理レシピサイトの料理レシピ数を見ると、だいこんは、比較的少なく、例えば同じ根菜類のにんじんのレシピ数の半分弱となっている。
今後、出荷の大宗を占める千葉産は、気候が平年並みと見込まれることから、生育が順調で、供給量が需要を上回り、しばらくは平年を下回る価格が続くと見込まれる。



資料：青果物情報センター(3月下旬の値は、3月28日までのデータを基に機構が推計)



資料：ペジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」



資料：ペジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」

品目別レシピ数

品目	レシピ数	比率
キャベツ	74,630	6%
ねぎ	205,902	17%
はくさい	31,561	3%
ほうれんそう	34,804	3%
レタス	36,230	3%
たまねぎ	234,497	19%
きゅうり	66,863	5%
トマト	121,778	10%
なす	46,004	4%
ピーマン	55,535	4%
だいこん	75,036	6%
にんじん	165,980	13%
さといも	10,186	1%
ばれいしょ	87,232	7%
14品目合計	1,246,238	100%

資料：料理レシピサイト「クックパッド」より機構作成(平成25年3月27日現在)

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は2月2日公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。